

岡山市の

岡山市第七次総合計画がスタート!

一緒に見てみよう!

どんな内容かな?



未来の設計図を見てみよう

少子高齢化や人口減少が進む中であっても、市がこれからも持続的に発展していくためには、長期的な視点に立ったまちづくりが欠かせません。令和8年度から新たにスタートする「岡山市第七次総合計画」は、未来への方向性を示す道しるべです。この特集では、岡山市の「未来の設計図」を見てみましょう。

岡 政策企画課 TEL086-803-1040

「**岡山市
第七次総合計画**
って何?



ひと言で言うと、岡山市の「未来の設計図」です。これからの10年間で、岡山市がどのようなまちを目指し、何に取り組んでいくのかを市民の皆さんと共有し、一緒にまちづくりを進めるための大切な計画です。市民意識調査やワークショップなど、市民の皆さんの意見も参考にしています。



市が目指す将来都市像

“ わくわくする ” 桃太郎のまち岡山

～つながり 輝き 幸せ実感～

まちづくりを進める上で大切にしてきた暮らしやすさや力強い都市の成長、安全・安心の3つの要素に磨きをかけながら、まちの「わくわく感」をより高めていくことで、都市の総合力を一層高め、愛着と誇りの持てるまちを目指します。



わくわくする岡山を
みんなでつくっていく、
ということだね!

総合計画の
詳細はこちら



「**つながる力**」で
ひと・まち・地域が輝く

まちや地域、経済、人の力をつなぎ、高めることで暮らしの質とまちの活力をさらに向上させます。



一人ひとり自分らしく
暮らせ、幸せを実感できる

一人ひとりがその人らしく生きられる「人中心」のまちづくりを進めます。



「**わくわく感**」あふれる、
より誇れるまちへ

「わくわく感」をさらに高め、魅力と活力にあふれる、国内外から選ばれるまちを目指します。

まちづくりの基本的な4つの視点

「暮らしの質の向上」と「都市の成長・活力の創出」の2本の柱の好循環を生み出しながら、これらの基盤となる「安全・安心」を充実させることにより、魅力と活力にあふれ、市民の「愛着と誇り」が高まるまちづくりを進めます。

01: 暮らしの質の向上

多様な選択肢

希望がかなう

活躍できる



子どもからお年寄りまで、お互いの「違い」を認め合って、みんなが笑顔で支え合うまちにします。

02: 都市の成長・活力の創出

圏域をリード

新たな価値の提供

つながり・交流



仕事や観光で「稼ぐ力」をアップ！歴史やスポーツの魅力も磨いて、にぎわいのある元気な岡山をつくろう。

03: 安全・安心の充実

災害に強い

地域で支え合う

快適で便利な暮らし



災害に強い「備え」と、どこへでも行ける便利な「交通網」。自然と調和した、安心で快適なまちをつくろう。

04: 愛着・誇りの醸成

協働・共創

地域を知り、磨き上げる

魅力の発信



岡山にしかない「魅力」を磨いて、もっと世界へ発信しましょう。誰もがこのまちを愛し、誇りに思える未来にしましょう。

岡山市の未来を示す8つの基本方向

将来都市像の実現に向けて、市が進める都市づくりを分野ごとに定めています。

1 こども・子育て・教育

こども・若者が健やかに成長し、安心して子育てができるまちづくり

2 協働・多様性

一人ひとりが活躍でき、ともに創る市民主体のまちづくり

3 健康・福祉

ともに支え合い、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり

4 産業・交流

魅力と活力にあふれ成長を続けるまちづくり



5 歴史・文化・スポーツ

新たな価値と魅力を創造する心豊かなまちづくり



6 安全・安心

災害に強く、地域で支え合う安全・安心なまちづくり

7 都市・環境

都市と自然が調和する、未来につなぐまちづくり



8 都市経営

圏域をリードし、まちの持続的発展を支える都市経営

8つの方向性に基づく各政策を着実に推進することで、岡山の未来を動かしていきます。



安心して子育てできる
まちづくりを進めます

1 こども・子育て・教育



● こどもの居場所づくりと社会的自立への支援(2億7,745万円)

不登校の児童生徒に対し、多様な学びの機会や居場所を提供するとともに、民間施設を利用する世帯の経済的負担を軽減します。また、不登校のこどもや保護者の支援ニーズなどの調査を行い、新たな支援につなげます。



● 学校給食費の保護者負担の軽減(31億1,940万円)

物価高騰や子育て世帯の生活負担増を踏まえ、新たに小学校の学校給食費の無償化を実施します。また、中学校の給食費は令和6年度と同額となるよう支援し、保護者の経済的負担を軽減します。



● GIGAスクール構想によるICT活用の支援(45億2,600万円)

ICTを活用した学習活動のための環境を整備し、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。令和8年度中に1人1台端末を新端末へ更新するとともに、学校のICT活用をサポートする体制を強化します。



- 放課後児童健全育成 49億859万円
- 産後ケア 9,556万円
- 中学校体育館の空調設備整備 10億7,871万円
- 小中学校のトイレ洋式化 10億円
- こどもの安全対策 9,900万円
- 電子図書館の導入 1,800万円

8 都市経営

● スマート窓口(1億270万円)

「行かない」「書かない」「待たない」「回らない」をコンセプトに、市役所窓口での手続きを支援し、市民の負担や待ち時間を削減します。また、オンライン手続き拡充や窓口レイアウト改善、窓口混雑マップ導入を実施します。



- 岡山市マイナンバーカードセンターの運営 5億8,500万円
- 外部専門人材の活用 1,100万円
- 情報発信力強化 2,350万円



デジタルの力で、
もっと便利になるね

2 協働・多様性

● 地域活動支援(3,323万円)

町内会が主体的な活動を継続できるよう、連絡方法や事務作業のデジタルを活用した効率化を支援し、役員の負担軽減や担い手不足の解消につなげます。また、新任町内会長などに向けた説明会や集会所整備など町内会活動に参加しやすい環境づくりを進めます。



- SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクトの推進 3,360万円
- 区のまちづくりの推進 1,400万円
- 誰もが暮らしやすく活躍できる多文化共生社会の推進 2,357万円
- 女性が輝くまちづくり 1,622万円

「こども・子育て・教育」の充実や、
魅力と活力ある地域づくりのため、
さまざまな事業に取り組んでいきます!

令和8年度

岡山市第七次総合計画に掲げる新たな将来都市像で
令和8年度に取り組む

7 都市・環境

● ごみ処理広域化処理施設整備・運営(176億8,630万円)

老朽化した岡南環境センターを更新し、ダイオキシン削減やサーマルリサイクルを推進。2市1町の可燃ごみの処理施設を同敷地に整備し、令和9年度から20年間運営して安全・安心で、安定的なごみ処理を実現します。



● 地域公共交通の利便増進(5億4,720万円)

持続可能な公共交通ネットワーク構築のため、バス路線の再編や乗り継ぎ拠点の整備・ICカードの利便性向上など、利用環境の改善に取り組み、公共交通の利用促進と経営の安定化を図ります。



- 快適な住環境の整備 10億4,942万円
- 緑地保全・緑化の推進 3,400万円
- 新たな生活交通の確保 2,900万円
- 粗大ごみ受付業務キャッシュレス化
・チャットボット等デジタル化 770万円



住みやすく快適なまちを
目指しています

3 健康・福祉

● 高齢者への定期予防接種 (16億1,237万円)

高齢者の重症化予防のため、定期予防接種の自己負担額を軽減し、希望する人が接種しやすい環境を整備します。



● 健康寿命の延伸 (7,655万円)

運動、栄養・食生活の改善、社会参加の促進など健康的な生活習慣の普及・定着を通じ、市民の健康寿命の延伸を目指しています。その一環として、健康ポイント事業やベジ・ファーストOKAYAMAプロジェクトを推進します。



- 梅毒等郵送検査・予防啓発 461万円
- 野犬対策 4,629万円
- 休日夜間急患診療所・休日急患歯科診療所の整備 6,922万円
- 障害者等歯科診療体制の確保 1,100万円

4 産業・交流



魅力と活力にあふれるまちに

● 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備 (5億8,555万円)

岡山駅の交通結節機能強化と中心市街地の活性化を図るため、路面電車の岡山駅前広場への乗り入れを整備します(令和8年度末供用予定)。また、駅前広場も整備して利便性と魅力の向上を目指します。



● 企業立地の推進 (2億9,460万円)

地域経済の活性化と雇用創出のため、企業の本社・中四国支店、IT・デジタルコンテンツ関連企業、製造工場、研究所、物流施設などの新規立地・拡充を促進します。また、市内既存工場の再投資・拠点強化を支援します。



- スタートアップ支援 1億4,450万円
- 生産基盤の確保・整備と農村振興 3億5,270万円
- 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上とにぎわいづくり 1億9,630万円
- 路面電車の延伸環状化 9,090万円
- 地域の未来づくり推進 8,580万円

の主な事業

ある「わくわくする」桃太郎のまち岡山」の実現に向けて、主な事業を紹介します。

詳しい予算の概要はHPをご確認ください。



見えないところも、しっかり守っているよ!



6 安全・安心

● 水道施設・管路耐震化等の更新 (106億300万円)

市民のライフライン確保という重要な役割を果たすため、水道施設や管路の更新、災害対策を進め、安定供給の継続を図ります。



● 道路施設の長寿命化 (26億2,802万円)

道路施設の老朽化と更新時期の集中を踏まえ、定期点検に基づく長寿命化修繕計画により計画的に修繕・補修を実施しています。



※修繕後

- 下水道・河川等による浸水対策 18億108万円
- 新庁舎整備 34億7,000万円

5 歴史・文化・スポーツ

● 「歴史を伝える城・集う城」岡山城の活用 (1億7,420万円)

岡山城でのイベント開催やXRを活用した展示強化、岡山のまちの礎を作った宇喜多家を発信する大河ドラマ誘致事業の拡充、史跡の保存整備などを通じて、観光誘客や郷土への愛着と誇りの醸成を図ります。



● 歴史遺産等を活用した観光誘客 (6,983万円)

造山古墳ビジターセンターの機能拡充に向けた基本計画策定、史跡万富東大寺瓦窯跡の保存整備に向けた発掘調査など、市の歴史・文化遺産の魅力を分かりやすく発信し、観光誘客を図ります。また、令和9年1月には東大寺サミットを開催します。



- 「新たな倭国論」の普及活用 4,410万円
- 文学によるまちづくりの推進 2,800万円
- アリーナ整備 2億3,740万円
- 部活動地域展開モデル 2,515万円

子育てや産業、安全・安心を大切にしながら未来へ続く元気なまちづくりを進めて、「わくわく感」あふれる、より誇れるまちをみんなで作っていきましょう!



※学校給食費の保護者負担の軽減や、地域への防犯カメラ・防犯灯の設置費用などの一部は、令和7年度2月補正予算に前倒して実施します。